

教材活用シリーズ 第 190 回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

もう所見・面談資料の作成で悩まない 生成 AI を活用した校務サポート

青葉出版(株)
『AI 校務サポート』



青葉出版(株)
編集部 ICT 支援課

はじめに

近年、学校現場では働き方改革の推進とともに、校務の効率化がますます求められています。特に生成 AI の進歩により、教育分野においてもさまざまな業務への活用が期待されるようになりました。一方で、通知表や指導要録の所見作成、個人面談や保護者面談のための資料作成などは、児童一人ひとりの状況をふまえて作成する必要があり、多くの時間と労力を要する業務となっています。

当社では昨年度より、生成 AI を活用した校務支援サービス「AI 所見文例」を提供して参りました。そして今年度は、所見作成機能をさ

らに進化させた「AI 所見文例 2.0」に加え、新たに「AI 面談資料」を搭載し、「AI 校務サポート」としてサービスを拡充いたしました。本サービスの利用により、所見文例の作成時間は 72%、面談資料の作成時間は 78% 削減可能であり、先生方が児童と向き合う時間をより多く確保できるよう支援します。*1 *2

1. 進化した「AI 所見文例 2.0」

「AI 所見文例 2.0」では、児童のようす、生活のようす、学習のようすなどを入力するだけで、クラス全員分の所見文例を一括で作成できます。入力内容は箇条書きでもよく、空欄が

あっても生成が可能のため、日常的なメモをそのまま活用することができま

す。
総合所見に加え、「外国語活動」「道徳」「総合的な学習の時間」の所見文例作成にも対応しています。さらに、教科の単元名を入力することで、その単元の学習内容に対応した所見文例を生成できるため、より具体的に実態に即した文章の作成が可能です。

また、「AI 所見文例 2.0」では、各自治体や学校毎の表記ルールへの対応機能を新たに搭載しました。「子供⇄子ども」「友達⇄友だち」など、地域や学校によって異なる表記をあらかじめ設定することで、生成される文章に自動で反映されます。これにより、表記統一のための修正作業を大幅に削減できます。

生成した所見文例は Excel ファイルへの出力や一括コピーにも対応しており、校務支援システムへの貼り付けも容易に行うことができます。



2. 新機能「AI面談資料」

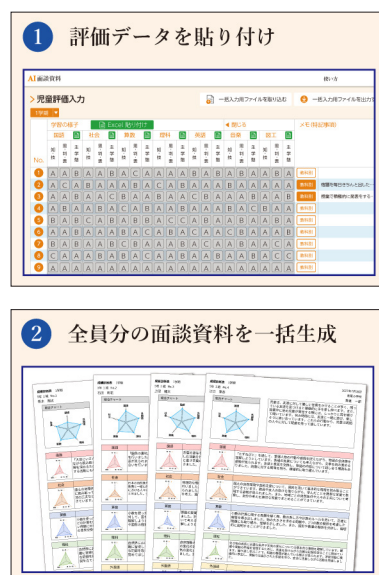
今年度では、新機能として「AI面談資料」を追加しました。

本サービスは、校務支援システムなどから出力した児童の評価データを貼り付けるだけで、個人面談や保護者面談で活用できる資料を自動生成します。各教科の評価結果や日常の記録をもとに、児童の学習状況や成長のようすを整理し、面談時に伝えるべき内容を分かりやすくまとめることができます。

生成内容は、「事実のみ」「事実＋励ましの言葉」「事実＋今後の学習計画案」の3つの形式から選択できます。面談の目的や時期に応じて使い分けことができ、長期休業前の面談では今後の学習計画を含めた資料を作成するなど、さまざまな場面で活用できます。

さらに、各教科・各観点の評価結果をもとに、特筆すべき点や今後の課題を自動で整理できるため、面談前の情報整理にかかる時間を大幅に削減できます。日頃の学習記録や特記事項も入力できるので、数値評価だけでは伝わりにくい児童の成長や努力の過程も資料に反映できます。面談の際には、保護者へ伝えるべきポイントを事前に整理できるため、限られた時間のなかでも充実した対話につなげることができます。

また、所見文例と同様に、箇条書きでの入力や空欄を含むデータにも対応しているため、特別な準備することなく利用できます。これまで時間のかかっていた面談資料作成を効率化し、より充実した面談の実現を支援します。



3. 登録不要で安心して利用できる

本サービスは、当社のテストをご採用いただいた先生方への教師用特典として、無料でご利用いただけます。IDやメールアドレスの登録、パスワード設定は不要で、ご採用いただいたテストが到着したその日から、当社デジタルコンテンツのポータルサイト「スマナビ」で利用できます。また、入力された情報はAIのモデル学習には使用されず、サーバーにも保持・保存されません。学校現場でも安心して活用できるよう配慮した設計となっています。

4. 所見の校正・修正もAIがサポート

「AI所見文例2.0」では、所見文例の生成だけでなく、作成済み文章の校正・修正にも対応しています。誤字・脱字の修正はもちろん、文章表現の改善や読みやすさの向上も行いう

とができます。

また、通知表用の敬体（です・ます調）の文章を、指導要録用の常体（だ・である調）へ一括変換する機能も引き続き搭載しています。AIが文脈を理解した上で変換を行うため、より自然で正確な文体変更が可能です。

さらに、生成後の文例に対してチャット形式で修正指示を出すこともできるため、先生方の意図に合わせた文章へ柔軟に調整することができます。

おわりに

私たちは、先生方の校務負担を少しでも軽減し、児童と向き合う時間を増やしていただきたいという思いから、「AI校務サポート」を開発いたしました。

今年度版では、「AI所見文例2.0」の機能強化に加え、新たに「AI面談資料」を搭載しました。日々の校務を支援することで、先生方がより本質的な教育活動に集中できる環境作りに貢献して参ります。本サービスが先生方の校務改善の一助となれば幸いです。

※画面は開発中のものです。

*1 当社調べによる数値です。

*2 本サービスで提供するテキストの生成にはChat GPTを使用しており、生成した情報は必ずしも適切であるとは限りません。文例として参考にされる際は、内容の正確性や児童の実態に即しているかどうかを必ず確認し、適切な修正を行ってください。